

活動 プログラム	No.07 基地づくり		
期待される 効果	   		
プログラム 概要	グループごとに森の中の好きな場所で自分たちが考えた基地作りを行います。枝や丸太など限られた材料とロープを使いながら、グループで一つの基地を作り上げていくことで、協調性を養います。		
対象	小学生以上	人数	40人（1つの場所につき）
時期	4月から11月頃	場所	キャンプ場奥の山林
金額	無料	大人の数	15人に1人

準備物	団体ごと	PPロープ(太さ6mm、長さ1グループ30m程度) 救急セット、ゴミ袋、行動食、ブルーシート（必要に応じて、基地の屋根用）
	服装 個人装備	長袖、長ズボン、帽子、水筒、リュック、カップ（上下セパレート）タオル、軍手
美方高原で レンタル可能な物		ハサミ、長靴、のこぎり、クマ鈴（グループに1つ）、ヘルメット、ブルーシート（荷物を置く用）

活動のタイムスケジュール（例）

時間	運営	安全上のポイント
事前指導	基地作りのイメージ作り 基地作りに必要なロープワーク	前日や事前学習に時間を作る必要があります。
8:30	玄関前に集合 服装、人数の確認 装備品の注意事項 森へ移動	天候の確認 服装や持ち物の確認 道具の使い方には気を付ける 蜂やヘビに遭遇したときの対処を伝える
9:00	基地作りの説明とエリアの説明 注意事項、活動開始 他のグループの基地見学	走らないように注意する 重い丸太を扱う時は気を付ける
11:00	ふりかえり	基地の中で昼食やおやつをとることができます
11:30	施設へ移動	
12:00	玄関前解散	※後日、基地の片づけ2時間程度必要。

補足ポイント

基地作成は最低半日を要します、その後基地で過ごす時間、解体の時間を考慮してスケジュールを組んでいただく必要があります。

後日、作った基地のかたづけをする時間は移動時間を含め2時間程度必要です

活動 プログラム	No.07	基地づくり
-------------	-------	-------

予期されるリスク	リスクに対する対応
転倒	木の根っこや石が転がっているので足元には十分に気を付けるように伝える。
切り傷	道具など使い方には気を付ける。使い方を事前にレクチャーをする。
落下	重いものを持ち上げる場合2人以上で関わる。重いものは自分の肩より上に上げない。
熱中症・脱水症状	屋外での活動のため塩分や水分をとるように伝える。
蜂とヘビとの遭遇	遭遇した場合の対応を伝えておく。活動エリア付近の蜂の巣の駆除。
天候不良	当日の天候や予測を確認し、著しく悪化する場合はプログラムの時間変更、もしくは中止する。
その他のケガ、体調不良	救急バックを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。

事前点検・準備事項
人数によりエリアの決定する。エリア内に倒木や落石の危険性はないか。
エリアを整備されており、使用ならびに安全に移動可能な状態か。
天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。
材料は十分にあるか、丸太は朽ちておらず頑丈なものか。
持ち物の確認ができているか。
参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は確認できているか。
運営方法やタイムスケジュールは明確に共有されているか。
施設の準備物は使用可能な状態か。数は揃っているか。
参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行っているか。

活動時のインストラクション（必須事項）
木の根っこなど足元が不安定なので走らないこと
ノコギリを取り扱う際には両手軍手着用。作業中以外は必ず鞘に収めることを徹底させる
蜂やヘビに遭遇した場合は刺激せずに距離をとること
木を扱う場合、トゲなどによるケガを防ぐために軍手をする
水分補給を行い、こまめに休憩をとること
重いものを運ぶときは2人以上で持ち、落下や他者への衝突に気をつけること